



# 4 東予・洋風焼き鯛めし普及推進事業費

令和8年度当初予算（案）  
予算額 15,436千円

令和7年度に東予地域の新たな食文化として誕生した「東予・洋風焼き鯛めし」の普及等を図るため、本県の鯛めし文化の一つとしての定着に向けた各種事業を展開し、えひめの「食」の魅力の底上げと県産食材の消費拡大につなげる。

お問い合わせ先  
東予地方局地域産業振興部  
地域政策課  
(0897-56-1300)

指標

施策	18 県産品の販売力強化	現状値	307.0億円 (R6年度)
	<b>KGI</b> 県営業本部関与成約額	目標値	300.0億円 (R8年度)
細施策	18-3 農林水産物の競争力強化と販路拡大	現状値	160.8億円 (R6年度)
	<b>KGI</b> 農林水産物の営業実績額	目標値	150.0億円 (R8年度)

## 事業イメージ

<b>KPI</b>	東予地域における洋風焼き鯛めし提供店舗数 (令和7年度の参加店舗数から倍増を目指す)	現状値	10店舗 (R7年度)
		目標値	20店舗 (R8年度)

## 事業概要

### 現状・課題

- 明治期に洋食文化がいち早く根付いた東予で、地元住民に愛される複数の洋食店が新たな鯛めしの開発に着手。**9事業者10店舗が令和7年8月から「東予・洋風焼き鯛めし」の販売を開始。**
- 県では、ブランド産品を中心に豊富な県産食材の魅力を発信し、「えひめ＝食」のブランディングを進めているが、中・南予と比較して**東予東部地域には有力な独自料理が定着していない。**
- 焼き鯛めしを持続的に提供していくためには、**店舗の来客者獲得と地域の食文化への定着が必要。**

### 目指すべき姿

1. 県産真鯛を食材とする新たな食文化の創出により、**県産食材の消費が拡大**する。
2. 個性ある多様な**洋風焼き鯛めし**が東予地域の**食文化として定着**し、交流人口が拡大する。
3. 地元店舗が**主体的に**県産品を活用した**商品開発や情報発信に取り組み、販売力が向上**する。

### 今後の方針

年度	課題への姿勢	取組内容 (定着に向けた認知度の向上)	東中南3種の鯛めしPR (食ブランドマーケティング課)
R7	第3の鯛めし創出	▶メニュー開発、販売開始	
R8	地元浸透・定着	▶店舗への誘客促進 ▶企業と連携したPR	
R9,10	多角化・県外発信	▶店舗への誘客促進 ▶家庭の食卓への浸透 ▶鯛めしギフト商品開発	

東予・洋風焼き鯛めしの普及 → えひめの「食」の魅力向上

### 1 地元地域への浸透と食文化定着に向けた取り組み【15,392千円】(県14,392千円)

- (1) 洋風焼き鯛めしスタンプラリーの開催 (3,404千円)  
東予の鯛めしの店舗を巡り、東予の観光地等の紹介も兼ねたスタンプラリーを開催。
- (2) T-1グランプリ-焼き鯛めしの陣-の開催 (4,310千円)  
東予の鯛めし店舗が一堂に集結するグルメグランプリを開催し、認知度の向上や情報拡散、店舗への誘客に繋げる。
- (3) SNS、タウン誌、インフルエンサー等各種メディアによる情報発信 (5,678千円)
- (4) 鯛めし提供店舗証明表札、ランチョンマット、ポスター等の店舗支援広報グッズの作成 (1,600千円) ※協議会事業(県800千円、3市800千円)
- (5) 洋風焼き鯛めし企業内リポーターの設置、社員食堂での東予洋風焼き鯛めしフェアの開催 (400千円) ※協議会事業 (県200千円、3市200千円)

### 2 店舗、自治体、観光協会等との連携ネットワークの構築【1,544千円】(県1,044千円)

- (1) 店舗の連携強化に向けたネットワーク構築、参加店舗拡大に向けた活動 (544千円)
- (2) ブランド価値向上アドバイザーの設置及び店舗向け勉強会 (SNS活用、ネット口コミ対策等) の実施 (1,000千円) ※協議会事業 (県500千円、3市500千円)  
事業費16,936千円 (県15,436千円、西条市・新居浜市・四国中央市：各500千円)

### ○東予・洋風焼き鯛めし普及協議会 (仮称) の設立

構成員 (案) : 県、3市町、鯛めし販売店舗、関係市の観光協会

